

かぬまの環境

第4次鹿沼市環境基本計画
平成30年度実績報告書

鹿沼市

鹿沼市民憲章

美しい山や川にかこまれたさつきの花咲く鹿沼市は、
恵まれた風土と伝統のもとに栄えてきた産業のまちです。
わたくしたちは、このふるさとに誇りをもち、希望あふ
れるまちづくりをめざして、この憲章を定めます。

- 1 仕事に励み、健康で明るい家庭をつくります。
- 1 きまりを守り、思いやりのある住みよい社会をつくります。
- 1 自然を愛し、文化のかおる豊かなまちをつくります。

昭和 55 年 8 月 1 日制定

市の花 : さつき (昭和 47 年 4 月 1 日制定)

市の木 : 杉 (昭和 55 年 8 月 1 日制定)

市の果実 : いちご (平成 28 年 7 月 22 日制定)

目 次

はじめに	1
第 1 章 鹿沼市の概況	1
1 地勢	
2 人口	
3 気象	
第 2 章 環境行政の概況	3
1 鹿沼市環境基本条例	
2 鹿沼市環境基本計画	
3 第 4 次鹿沼市環境基本計画の概要	
第 3 章 地球温暖化対策実行計画の実績	6
第 4 章 環境施策の実施状況	12
大項目 1 低炭素のまちをつくる	13
大項目 2 循環のまちをつくる	15
大項目 3 自然と共生するまちをつくる	18
大項目 4 みんなが考え行動するまちをつくる	21
環境施策の数値目標一覧	23
第 5 章 地域別環境配慮行動計画の実績	25
資料集	31
1 大気環境の状況	32
2 水環境の状況	33
3 騒音・振動の状況	40
4 ダイオキシン類の状況	41
5 ごみの総排出量とリサイクル率の推移	42
6 動植物の生息状況	43
7 環境審議会委員名簿	44
8 環境情報紙	45
9 森林愛護ポスターコンクール	46

環境都市宣言文

はじめに

本書は、鹿沼市における環境の保全等に関する施策の実施状況を明らかにするために、第4次環境基本計画に定めた計画の進捗状況をまとめたものです。市民の皆様の環境に対する関心をさらに高め、市民協働による環境保全の取り組みが推進されるための一助となれば幸いです。

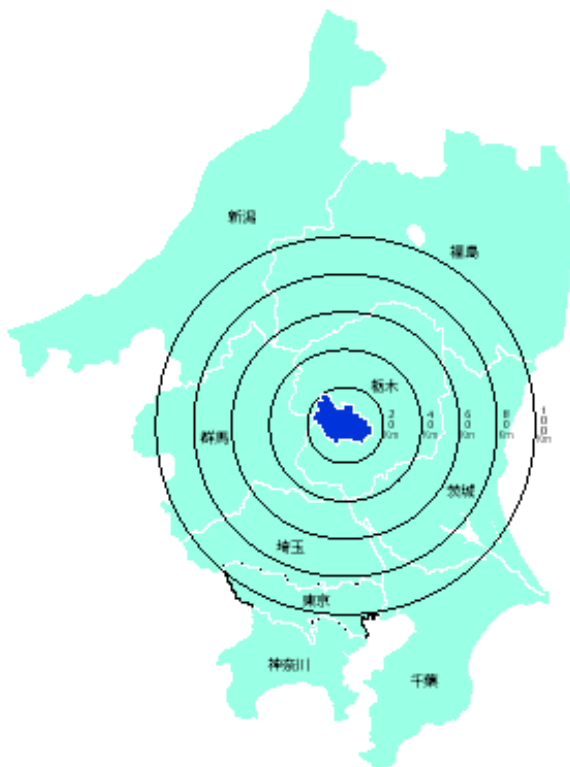
第1章 鹿沼市の概況

1 地勢

本市は、首都東京からおよそ 100km圏内にあり、北部は国際観光地日光市、東は県都宇都宮市に隣接しています。道路では、東北縦貫自動車道鹿沼インターチェンジを有し、鉄道では、東武日光線とJR日光線が通っています。

市内の7割は森林で覆われ、北西部の山々を源流として、大芦川、荒井川、粟野川、思川、永野川が、日光からは黒川と行川が南流し、山と高原や清流と溪谷のある美しい景観を成しています。

市街地は、黒川の河岸低地及び思川と粟野川が合流する平地で形成されています。



位置・面積

東 経 :	139 度 28 分 02 秒 — 139 度 50 分 08 秒
北 緯 :	36 度 27 分 29 秒 — 36 度 42 分 43 秒
海 抜 :	148.8m (市役所)
面 積 :	490.64 k m ²

鹿沼市位置図

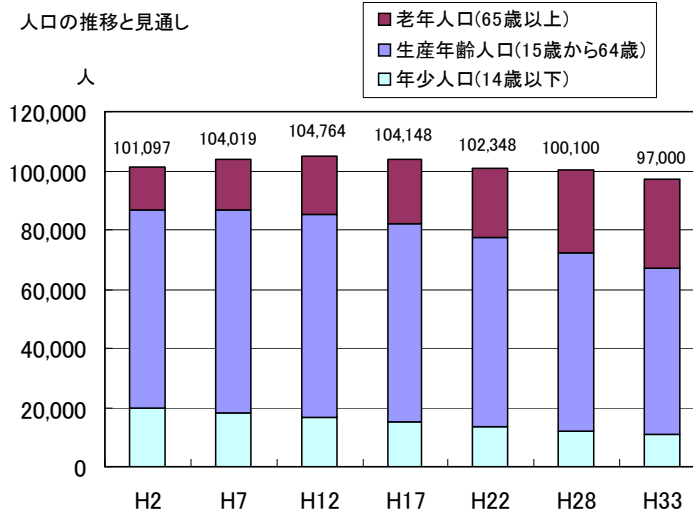
2 人口

本市の人口は、平成13年3月をピークに減少傾向が続いています。年齢構成では、年少人口の減少が著しく、一方で高齢人口の割合が高まり、この傾向が続くことが予想されます。

人口と世帯数（平成31年4月1日現在）

人 口：96,067人
世 帯 数：36,096世帯

人口の推移と見通し



第6次鹿沼市総合計画（平成24年3月策定）より

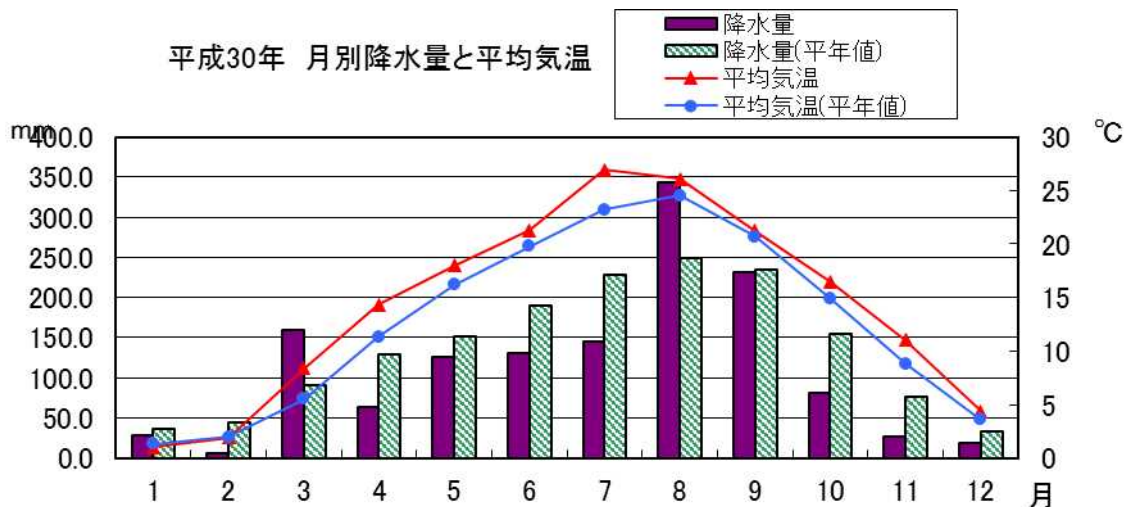
3 気象

本市の気候は、内陸のため寒暖の差がやや大きく、冬季の平地部の低温と夏季の雷の発生が特徴的です。

気象（平成30年中）

降 水 量：1360.0mm（日最大：92.5mm）
気 温：14.25℃（最高34.4℃ 最低-6.7℃）
風 速：1.85m/s（瞬間最大26.9m/s）
日照時間：2152.5h

平成30年 月別降水量と平均気温



気象庁データから作成

第2章 環境行政の概況

1 鹿沼市環境基本条例

本市では、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の健康で安全かつ文化的な生活の確保に寄与することを目的として、平成12年12月に鹿沼市環境基本条例を制定しました。

本条例では、環境の保全についての基本理念や、市、市民、事業者のそれぞれの責務を明らかにするとともに、施策の基本方針を定めています。また、この条例のなかで、市が環境基本計画を定め公表することや、環境の状況及び環境の保全等に関する施策の実施状況について年次報告書を作成し公表することを規定しています。

2 鹿沼市環境基本計画

環境基本計画は、環境基本条例第9条に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくために策定しています。本市最初の環境基本計画は、平成12年3月に策定しました。その後平成19年4月に見直しを行い、平成24年3月には第3次鹿沼市環境基本計画を策定し各種施策を展開してきました。現在は、平成29年度から平成33年度を計画期間とした第4次鹿沼市環境基本計画をもとに、施策を進行しています。

H 12. 3	鹿沼市環境基本計画	策定
H 12. 12	鹿沼市環境基本条例	制定
H 16. 1	環境都市宣言	告示
H 19. 4	第2次鹿沼市環境基本計画	策定
H 24. 3	第3次鹿沼市環境基本計画	策定
H 29. 3	第4次鹿沼市環境基本計画	策定

3 第4次鹿沼市環境基本計画の概要

(1) 計画の目標年次

平成33(2021)年度を目標年次としています。

(2) 基本理念

環境基本条例の第3条では、次の4つの基本理念を掲げています。

- 1 環境の保全は、市民の環境問題に対する意識の高揚を図り、健康で安全かつ文化的な生活を営むことができる恵み豊かな環境を確保するとともに、これを将来の世代に継承していくことを目的として行われなければならない。
- 2 環境の保全は、森林、農地、水辺地等の恵み豊かな自然環境並びに潤い及び安らぎのある社会環境を確保するとともに、これらと市民が健全に共生できる生活環境を形成することを目的として行われなければならない。
- 3 環境の保全は、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会を構築することを目的として、すべての者の公平な役割分担の下に自主的かつ積極的に行われなければならない。
- 4 地球環境の保全は、すべての者がこれを自らの課題として認識し、市民生活及び経済活動等あらゆる活動において積極的に推進されなければならない。

(3) 基本目標

次の4つの基本目標にそって、環境施策を進めていきます。

- 1 低炭素のまちをつくる
- 2 循環のまちをつくる
- 3 自然と共生するまちをつくる
- 4 みんなが考え行動するまちをつくる

(4) 環境に関する市民の意識(アンケート結果)

平成 27 年度に市民 2,000 人と、きれいなまちづくり推進員 255 人を合わせた 2,255 人(回答者数 864 人)にアンケートを実施し、市民の環境問題に関する意識や要望などを確認しました。

鹿沼市の環境についてどのように感じているかは、

「緑の豊かさ」について 70.4 パーセントの回答者が「大変満足」又は「おおむね満足」と答えました。その他には、「空気のきれいさ」が 62.9 パーセント、「水のきれいさ」59.1 パーセント、「水の豊かさ」56.9 パーセントの回答者が「大変満足」又は「おおむね満足」と答え、自然環境について満足度の高さが示されました。

一方、「たいへん不満」又は「やや不満」の回答が多かったのは、順に「静けさ(騒音・振動がない)」(19.7%)、「環境に関する学習の機会や情報の提供」(16.4%)でした。

鹿沼市に優先して取り組んでほしい取組は、

「空き家対策」が全体の 33.6 パーセントを占めました。また 20 パーセント以上の項目は、順に「自然環境・生態系の保全」(23.6%)、「適切な土地利用の確保(農地や山林など)」(22.2%)、「ごみの減量やリサイクルの推進」(20.8%)、「地球温暖化対策」(20.6%)、「上下水道の整備」(20.3%)でした。

これら市民の意見を参考に、積極的に課題に取り組み、鹿沼市全体の環境についての満足度が向上するよう環境施策を進めます。

平成 30 年度きれいなまちづくり標語 最優秀賞作品

小学校の部

「ゴミ拾う みんなの心に 金メダル」

中学校の部

「無駄なゴミ 作らず買わず 受け取らず」

第3章 地球温暖化対策実行計画の実績

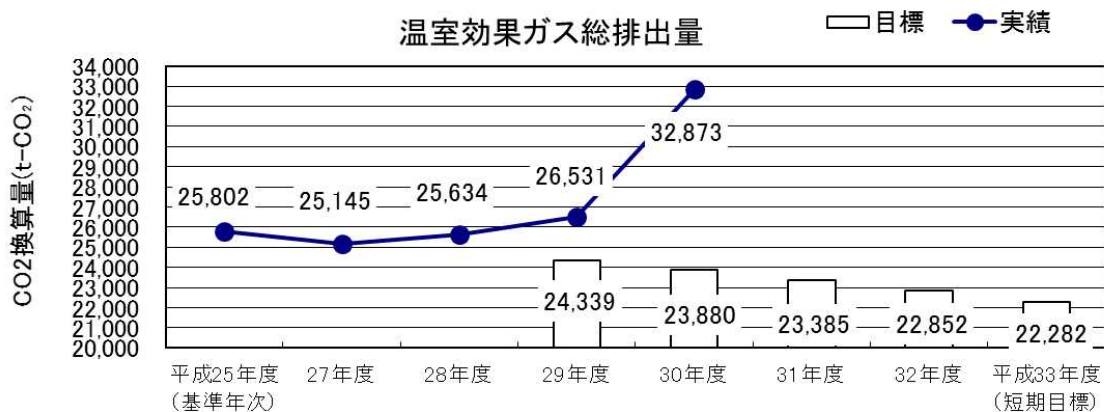
鹿沼市では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく計画を平成14年に初めて策定し、温室効果ガスの排出抑制等、環境負荷の低減に取り組んできました。

平成29年3月には、鹿沼市環境基本計画の改定に合わせ、温室効果ガスの削減目標値を国の目標値に合わせて見直すとともに、市として地球温暖化対策により戦略的に取り組むため、環境基本計画の施策に位置づけることにより、重点的に推進しています。

地球温暖化対策地域推進計画の平成30年度実績について

1 市の事業者としての削減目標

(1) 事務事業活動に伴う温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)



		基準年次 (H25)	H29	H30	H31	H32	目標年次 H33
目 標	排出量(t)	-	24,339	23,880	23,385	22,852	22,282
	対基準年次 増減量(t)	-	▲1,463	▲1,922	▲2,417	▲2,950	▲3,520
	増減率(%)	-	▲5.6	▲7.4	▲9.3	▲11.4	▲13.6
実 績	排出量(t)	25,802	26,531	32,873			
	対基準年次 増減量(t)	-	729	7,071			
	増減率(%)	-	2.8	27.4			

平成30年度の温室効果ガスの総排出量は32,873t-CO₂と、基準年次(平成25年度)から7,071t-CO₂、27.4%の温室効果ガスが増加しました。

(2) 温室効果ガス排出量の内訳(削減の内訳)

ア 資源・エネルギー等使用に伴う温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次 (平成 25 年度)	平成30年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
電 気 使 用	kW	26,384,519	25,864,085	▲ 520,434	1,068	8.5%
A 重 油 使 用	L	378,771	345,278	▲ 33,493	▲ 90	-8.9%
プロパンガス使用	kg	180,735	156,650	▲ 24,085	▲ 73	-13.5%
都 市 ガス使用	m ³	168,506	185,512	17,006	51	13.9%
灯 油 使 用	L	499,539	373,389	▲ 126,150	▲ 329	-26.2%
ガソリン使用	L	156,962	92,865	▲ 64,097	▲ 148	-40.8%
軽 油 使 用	L	122,997	128,767	5,770	16	5.0%
公 用 車 走 行	km	1,989,572	1,238,046	▲ 751,526	▲ 5	-36.3%
計					490	2.9%

イ 廃棄物の焼却による温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次 (平成 25 年度)	平成 30 年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
一 般 廃 棄 物 焼 却	t	23,354	26,751	3,397	25	5.8%
廃プラスチック焼却	t	2,885	5,243	2,358	6,516	81.7%
下 水 汚 泥 焼 却	t	5	86	81	27	1553.2%
計					6,568	78.1%

ウ その他の事項による温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次 (平成 25 年度)	平成 30 年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
カーエアコンの使用	台	341	340	▲ 1	1	9.7%
下 水 処 理	m ³	10,907,829	10,531,207	▲ 376,622	▲ 8	-1.2%
し 尿 処 理	m ³	8,958	7,095	▲ 1,863	▲ 2	-20.8%
浄 化 槽	人	7,022	7,338	316	22	15.7%
計					13	-5.1%

温室効果ガス増減量

$$ア + イ + ウ = 490t + 6,568t + 13t = 7,071t$$

(3) 温室効果ガス削減状況の考察

ア 資源・エネルギーの使用に伴う温室効果ガス排出状況について

都市ガス及び軽油の使用の活動項目以外において基準年次より減少しましたが、CO₂排出量は 490t増加しました。これは、電気事業者の排出係数値が上昇したことにより、電気使用に伴う二酸化炭素排出量が基準年次と比較して 1,068t の増加となったことが主な要因と考えられます。

施設における具体的な取組としては、業務に支障のない範囲での照明の間引き、冷房・暖房の一定温度設定、グリーンカーテンや遮光ネットの設置などにより節電・省エネを図りました。行政経営マニュアルに定められた“もったいない運動の基本理念に基づく率先活動の推進”に基づくこれらのエコオフィス活動を通じて、職員に省エネルギーの習慣が浸透してきました。

また、公用車の入れ替え時にエコカーを積極的に導入することや職員のエコドライブを徹底することで、燃料使用量の削減を図ってきました。

イ 廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出状況について

一般廃棄物焼却量、廃プラスチック焼却量とも基準年より増加し、CO₂排出量は 6,568t増加しました。これは、世帯数の増加による生活ごみの増加や、生活ごみの中の廃プラスチックが増加したことなどが要因と考えられます。

なお、下水汚泥焼却量については、平成 27 年度より酒野谷・下南摩・菊沢西 3 地区の農業集落排水施設の汚泥を堆肥化センターにおける処理から焼却処理へ変更したことから、基準年次より焼却量・二酸化炭素排出量とも大きく増加しました。

ウ その他の事項による温室効果ガス排出状況について

下水処理及び浄化槽については、市域内の下水道処理人口や公共施設における浄化槽設置数が増加したことに伴い、いずれも二酸化炭素排出量が増加しました。

その一方で、し尿処理については、下水道や浄化槽の普及に伴い、汲み取り量が減少したことにより、20.8%の二酸化炭素排出量を削減することが出来ました。

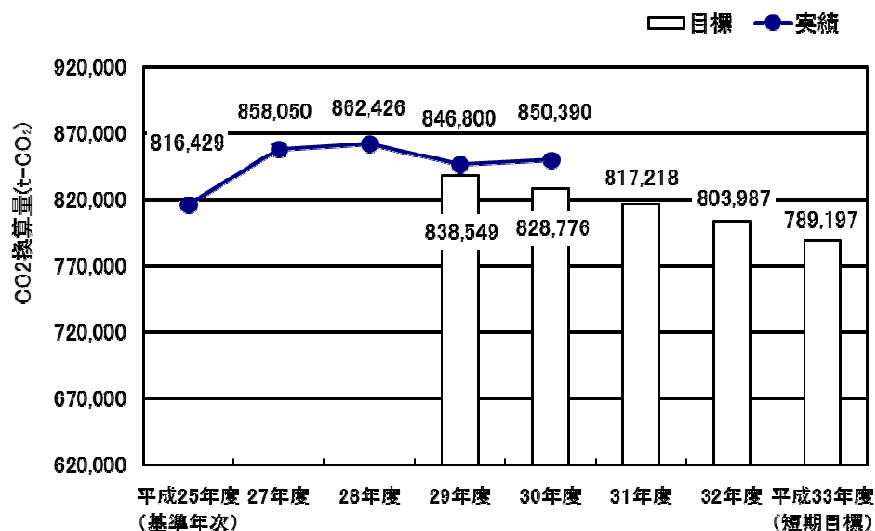
(4) 今後の取組

平成 29 年度からの 5 年間を計画期間とする第 4 次鹿沼市環境基本計画における温室効果ガス排出量の新たな削減目標を達成するため、本市の事務事業においては、「庁内ストップ温暖化行動」を始めとして、業務のあらゆる場面で省エネルギー化を意識した効率的な行政運営に努めていくことが重要です。

また、さらなる温室効果ガス排出量の削減のためには、鹿沼市版もったいない運動における市民運動に加えて、環境省が主導する国民運動「COOL CHOICE(クールチョイス)」を推進・拡大していく必要があります。毎日の生活や活動のあらゆる場面において、低炭素を意識した工夫と努力がなされるよう、市民や事業者に対して、ごみ減量やリサイクルの推進に係る意識啓発や、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用に対する支援などを行っていきます。

2 市全域としての削減目標

(1) 温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)



		基準年次 (H25)	H29	H30	H31	H32	目標年次 H33
目標	排出量(t)	-	838,549	828,776	817,218	803,987	789,197
	対基準年次 増減量(t)	-	22,120	12,347	789	▲12,442	▲27,232
	増減率(%)	-	2.7	1.5	0.1	▲1.5	▲3.3
実績	排出量(t)	816,429	846,800	850,390			
	対基準年次 増減量(t)	-	30,371	33,961			
	増減率(%)	-	3.7	4.1			

環境省の作成した地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定マニュアル(第1版)簡易版(以下「簡易版マニュアル」という。)により算出した平成30年度の温室効果ガスの総排出量は、850,390t-CO₂と算定されました。

基準年次(平成25年度)と比較すると、排出量は4.1%増加しています。

※簡易版マニュアルは、廃棄物を除く分野で都道府県及び全国のエネルギー使用量から算定した二酸化炭素排出量を、部門別の指標によって按分しているため、実態を反映していない場合があります。本計画では参考値として扱っています。

3 平成 30 年度の主な取組実績

平成 30 年度において、温室効果ガスの排出を削減するため、基本方針に基づき次のような取組を行いました。

基本方針	平成30年度の主な取組実績	
	施策	内容
省エネルギー型ライフスタイルの推進	昼休みの消灯	市役所内照明の昼休みの消灯の徹底を図った。
	エアコン設定温度の徹底	市役所内エアコンの設定温度の徹底(夏28℃、冬20℃)を図った。(クールビズ期間:5月1日~10月31日)
	省エネルギーの啓発	広報・ホームページ等による省エネルギー情報の提供や節電コンテスト・グリーンカーテンコンテストの募集を行った。 (節電コンテスト参加数:6世帯、グリーンカーテンコンテスト参加者数:36名)
クリーンエネルギーの利用推進	太陽光発電設備支援	住宅用太陽光発電設備等の設置に対する支援を行った。 (補助額:1万円/kW(上限4万円)、82件)
	大規模太陽光発電施設の誘致の推進	大規模太陽光発電施設(500kW以上)の償却資産として課税される固定資産税相当額の補助を行った。(補助対象期間:3年間) (補助金交付件数:4件)
循環型社会の構築	ごみ減量のための教育・啓発活動	ごみ減量のための教育・啓発のため、5種14分別の出前講座を実施した。 (年5回実施、参加者数:162人)
	資源物の集団回収の推進	自治会・町内会などによる資源物の集団回収の推進を図った。 (登録団体:153団体、回収重量:1,375トン)
	家庭用生ごみ処理機、コンポストの購入補助	家庭用生ごみ処理機、コンポストの購入補助 (生ごみ処理機補助:購入額の2分の1(上限3万円)、9台) (コンポスト容器補助:購入額の2分の1(上限6,000円)、20台)
地域環境の整備・改善	里山等の保全活動の促進	とちぎの元気な森県民税事業を活用し、自治会等にて里山等の整備・管理を行った。 (整備面積:24.71ha、管理面積77.56ha)
	耕作放棄地対策(農地リニューアル)事業	農地リニューアル事業により、耕作放棄地6.1haを解消し、農地の有効利用を図った。
	環境美化の日	5月20日・9月16日の「環境美化の日」に、地域清掃活動等を実施した。 (ゴミ持込み総量:総2,150kg)

第4章 環境施策の実施状況

この章は、第4次鹿沼市環境基本計画に基づいた環境施策の、平成 29 年度の実施状況をまとめたものです。環境基本計画では、4 つの基本目標(大項目)の下に中項目・小項目を体系化し、小項目ごとに施策を展開し、総合的かつ体系的に基本目標の達成を目指しています。

大項目 (基本目標)	中項目	小項目
1 低炭素のまちをつくる	① 温室効果ガスの削減	(1) 温室効果ガスの排出抑制
		(2) 省資源・省エネルギーの推進
		(3) 再生可能エネルギーの利活用
		(4) 温室効果ガスの吸収源対策
	② 市の公共機関としての率先行動	(1) 再生可能エネルギーの利活用
		(2) 省資源・省エネルギーの推進
2 循環のまちをつくる	① 3Rの推進	(1) ごみの排出抑制
		(2) 資源の再利用・リサイクルの推進
		(3) ごみ等の適正処理
	② 水循環の保全	(1) 水資源の保全と有効利用
		(2) 生活排水等の適正処理
3 自然と共生するまちをつくる	① 自然環境の保全	(1) 自然環境の保全
		(2) 生物多様性の保全
	② 生活環境の保全	(1) 自然と調和した住環境づくり
		(2) 公害等の防止
		(3) 不法投棄の防止
4 みんなが考え行動するまちをつくる	① 次世代につながる人づくり	(1) 市民への環境教育の充実
		(2) 子どもたちへの環境教育の充実
	② きれいなまちづくりの推進	(1) きれいなまちづくり運動

大項目1 低炭素のまちをつくる

中項目①温室効果ガスの削減

小項目(1)温室効果ガスの排出抑制

《COOL CHOICE の普及促進》

ホームページや各種イベント、学習会等においてCOOL CHOICEの普及啓発を行いました。また、クールチョイスバス停の作成や4コマ漫画大賞を行い、日常生活における行動の普及啓発にも努めました。

COOL CHOICE デザインのバス停



《環境にやさしい建築物の普及促進》

ホームページを活用し、広く市民や事業者への普及啓発を行いました。

《生活交通の確保・利用促進》

公共交通機関である定期路線バス(リーバス)12 路線及び予約バス(デマンド交通)を4 区域で運行しました。

小項目(2) 省資源・省エネルギーの推進

《省資源・省エネルギーの普及啓発》

節電コンテストを実施し、電気使用量の多い7・8月に節電を推進しました。

また、家庭や施設で取組むグリーンカーテンコンテストを実施しました。

《建築物の省エネ改修の促進》

商工会議所を通して市内事業者への周知を図りました。併せて、HP や広報誌でも制度の記事を作成しPRしました。

《防犯灯・街路灯の省電力化》

自治会等が維持管理する防犯灯及び商店会等が維持管理する街路灯のLED 化を促進しました。

小項目(3) 再生可能エネルギーの利活用

《再生可能エネルギーの利活用に対する支援》

太陽光発電や高効率給湯器などを設置した市民に、報奨金として商品券を支給しました。

《再生可能エネルギーの地産地消に係る取組の検討》
国庫補助の活用等、調査・研究をしました。

小項目(4) 温室効果ガスの吸収源対策

《森林の適正管理》

皆伐や間伐施業により森林を循環させるために、森林組合等の林業事業体に対して森林経営経計画策定の推進を周知及び要請を行いました。

《森林の保全と緑化の推進》

友好都市交流事業として墨田区及び足立区民向けに植林体験の他、間伐体験等を5回開催しました。

中項目②市の公共機関としての率先行動

小項目(1) 再生可能エネルギーの利活用

《公共施設における再生可能エネルギー設備導入の推進》

公共施設においては、板荷コミュニティセンターと加蘇コミュニティーセンターに太陽光発電設備及び蓄電池設備が設置してあります。

《再生可能エネルギー発電による電力購入の推進》

再生可能エネルギーを含む電力の購入を行いました。

《クリーンエネルギー公用車の導入》

公用車におけるクリーンエネルギー自動車1台の導入を行いました。

小項目(2) 省資源・省エネルギーの推進

《庁内ストップ温暖化行動の徹底》

市役所内において、昼休みの消灯、夏季のクールビズや冬季のウォームビズの推進、ノー残業デーの実施、ごみの分別による燃やすごみの削減等の他、本庁舎や各出先施設へのごみ分別現地調査により、分別の実施状況の把握と改善の指導を実施しました。

《エネルギー消費量の低減化を図った公共施設整備の設計や設備等の導入》

省エネルギー診断の結果を庁内会議等で報告し、他施設への水平展開の推進を図りました。

《公共施設等総合管理の推進》

公共施設の再編・運営の見直しにより、維持管理費の軽減及び将来の施設更新の抑制を行い、建物由来の環境負荷の低減を図りました。

大項目2 循環のまちをつくる

中項目①3Rの推進

小項目(1) ごみの排出抑制

《ごみ減量のための教育・啓発活動》

ごみ減量のための教育・啓発のため、5種14分別の出前講座を年2回実施し、外国人を含む多くの市民が参加しました。また、市内の4年生やその他希望により施設見学会を実施しました。

《ごみ減量化の強化》

市民にごみ減量協力と呼びかけを実施するものであるが、年間を通じて地域の資源物集団回収や白色トイレの店頭回収を実施し、分別徹底、リサイクルの推進を実施しました。

小項目(2) 資源の再利用・リサイクルの推進

《ごみの「5種14分別収集」の徹底》

衣服布類・雑古紙を資源物に追加した5種14分別をH20年10月から実施し、家庭から排出されるごみの分別をお願いしています。

5種14分別収集

分け方	燃やすごみ	資源物										燃やさないごみ	粗大ごみ	処理困難物	
		乾電池・スプレー	飲料用ビン・缶	新聞	雑誌	段ボール	紙パック	・ 雑古紙	その他の紙	衣服・布	ペットボトル				その他のプラスチック製容器包装
収集	週2回	週1回	月2回					週1回		—	月2回	—	—		
出し方	鹿沼市指定ごみ袋	コンテナ容器	十文字しぼる		ひもで	白色半透明の袋		透明または白色半透明の袋	コンテナ容器	白色半透明の袋	透明または白色半透明の袋	拠点回収	コンテナ容器	戸別収集・直接搬入	戸別収集・直接搬入

《バイオマス資源の利活用促進》

堆肥化センターに搬入された家畜排せつ物 8,935t、木くず 288t、もみ殻等 878tを処理し堆肥にしました。

生ごみを堆肥化し有効利用することにより、ごみの減量を図るため、生ごみ処理機設置費補助制度を実施しました。

下水道処理施設から発生した脱水汚泥を資源化するため、引き続き資源化工場へ搬出しました。さらに、民間業者の協力を得て汚泥の肥料化・燃料化研究を継続しています。



堆肥化センターで製造された堆肥

《リユース活動の促進》

市民のごみ減量やリユース・リサイクルの推進及び意識啓発のため、鹿沼市リサイクルセンターを活用した事業の推進を実施しました。

《空き家対策の推進》

空き家適正管理に関する調査・指導のほか、菊沢・東大芦・加蘇・南押原・栗野・清洲・粕尾・永野地区において空き家の実態調査及び利活用アンケートを実施しました。

《建築物の解体や新築工事における3Rの推進》

広報かめまやホームページを活用して、広く市民や事業者へ建設リサイクル法の普及啓発を行いました。

小項目(3) ごみ等の適正処理

《ごみステーションの適正配置》

ごみステーション設置基準に基づき、設置者に対して、適正配置を勤めました。

《ごみ・し尿の適正処理》

家庭系ごみについては、市民に対しごみ出しルールや5種14分別の周知徹底を図り、事業系ごみについては事業者、許可業者に対するごみの適正な搬入指導を実施しました。また、ごみ・し尿処理を安定的かつ適正に進めるため、計画的な維持管理を行いました。

中項目②水循環の保全

小項目(1) 水資源の保全と有効利用

《水質汚濁の防止》

工場・事業所からの排水調査を実施しました。異常水質発生について関係機関と連携し対応しました。定期的水質検査や汚染地区の継続監視を実施しました。

《上水道の整備・管理》

有収率を上げ、また漏水による路面陥没等による事故を未然に防ぐため、漏水調査(路面音聴調査 L=347km、戸別音聴調査 N=16,320 戸)、老朽管の更新(4,202m)を実施しました。

《公共下水道の整備》

公共下水道事業計画に基づき污水管布設工事を 1,030.4m 施工しました。また水洗化普及のために、99 戸に戸別訪問を実施しました。

《地域における生活排水処理適正化の推進》

菊沢西地区集落排水事業推進検討委員会において、接続率を上げるために、加入促進PRを実施しました。

《個人の浄化槽設置に対する支援》

家庭用浄化槽の設置を促進するため、合併処理浄化槽設置基数:5 人槽 40 基、7 人槽 42 基、10 人槽 5 基、計 87 基に対し補助を行いました。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替えによる上乗せ補助金の利用は 24 件ありました。

《雨水対策の推進》

府中雨水幹線、日吉雨水幹線、千渡雨水幹線の施工に取り組み、現在は整備途中です。

大項目3 自然と共生するまちをつくる

中項目①自然環境の保全

小項目(1) 自然環境の保全

《土地利用における総合調整》

「鹿沼市総合計画」等に基づき、一定規模以上の土地を利用する場合に関係法令等による手続の前に事前調整、事前協議により総合調整を行いました。

《天然記念物の保護》

市指定天然記念物樹勢調査及び「深津のザゼンソウ群落」個体数調査を実施。栃木県指定天然記念物については毎月巡視を行いました。



市指定天然記念物の「叶台のカヤ」

《環境保全型農業や有機農業の推進》

環境保全に効果の高い営農活動を実践することにより、農業生産のあり方を考え、農業が本来有する自然循環機能を維持及び推進を行いました。

《農業・農村の多面的機能の発揮促進》

多面的機能支払交付金活動として、31組織が共同活動事業に取組み、農地・水路等の農村環境保全管理活動を行いました。

《中山間地域対策》

里山林整備活動として、立ち木の伐採や藪の刈払いを行い、野生鳥獣が近づきにくい環境づくりを行いました。また、「鹿沼市鳥獣被害防止計画」により、1年間の有害駆除許可を出してイノシシの捕獲を行いました。

《耕作放棄地対策》

耕作放棄地のうち 6.1ha を解消しました。

小項目(2) 生物多様性の保全

《市内に生息する動植物の把握》

種の保全を目的として各地区において特定外来生物に指定されているアライグマ(ハクビシン兼用)の罠を活用し捕獲を推進しました。

《生き物の観察活動等の促進》

ふれあいみどりの村「田んぼの生き物観察会」を開催しました。また、多面的機能支払交付金活動として、生き物観察会を実施しました。

環境学習講座の中で、生き物観察会を実施しました。



生きがいの森(栃窪)での
生き物観察会

中項目②生活環境の保全

小項目(1) 自然と調和した住環境づくり

《良好な景観形成の促進》

「鹿沼市景観計画」による「良好な景観形成に関する方針」に基づき、「自然資源、歴史・文化的資源を活かした景観形成」「人と自然が共存し、住んで美しい、観て美しいまちかぬま」の実現に向け、景観まちづくりを推進しました。

《環境に配慮した土地区画整理》

新鹿沼駅西地区において、土地区画整理事業の完了に向けて整備を進めました。

《街区公園の整備及び市民協働による維持管理》

街区公園の維持管理を地区住民との協働により行い住環境の向上を図りました。

小項目(2) 公害等の防止

《大気の保全》

大気中の有害物質等の常時測定を実施しました。
光化学スモッグ注意報発令時に関係機関へ迅速に連絡しました。
野焼き発生時の苦情対応・指導をしました。

《土壌の保全》

土壌中のダイオキシン類測定を実施しました。
土採取事業や土砂等の埋め立て等に対する規制・監視及び指導を行いました。

《騒音・振動対策》

交通量の多い道路の騒音の測定を実施しました。
特定工場等や特定建設作業等に対する指導を行いました。

《悪臭への対応》

悪臭発生の苦情対応・調査及び発生源に対する指導を行いました。

《放射能汚染対策》

市域における空間放射線量のメッシュ測定を実施しました。
除去土壌保管場所における空間放射線量測定を実施しました。
除染済公共施設における放射線モニタリング調査を実施しました。
農林産物・飲料水・給食食材等の放射線量測定を実施しました。
空間放射線量測定器の貸出しを実施しました。
小中学校全校で放射線量を測定し、ホームページで公開しました。

小項目(3) 不法投棄の防止

《ごみの不法投棄の防止》

環境パトロールや監視カメラの設置、市民との協同による監視、「鹿沼市きれいなまちづくり推進条例」に基づき空き地の管理不全等に対する指導を行いました。

《不法投棄ごみの撤去》

「鹿沼市きれいなまちづくり推進条例」に基づく投棄者への指導、地元住民の清掃活動「クリーン鹿沼」による撤去作業などを実施しました。

《放置自転車対策》

市内各駅の自転車駐車場他、公共の場所等の放置自転車を撤去しました。

大項目4 みんなが考え行動するまちをつくる

中項目①次世代につなぐ人づくり

小項目(1) 市民への環境教育の充実

《市民参加講座・イベント等の開催》

環境学習講座基礎課程を開講しました。(全6回)

環境学習講座～夏休み特別講座～を実施しました(参加者延べ215人)



環境学習講座～夏休み特別講座～
(ネイチャクラフト)



環境学習講座～夏休み特別講座～
(キャンドル作り)

《環境教育指導者の養成・発掘・活用》

受講者なしの為、環境学習講座指導技術過程は開講しませんでした。

《地域における環境学習の推進》

第1回目として、地域環境学習講座 in まちなかを開講しました。

小項目(2) 子どもたちへの環境教育の充実

《子どもたちへの環境教育の推進》

自然体験交流センター開放デー・あわの秋まつり・足立区交流事業・墨田区交流事業・すみだ環境フェアで丸太切りやマイ箸、椅子づくりの体験イベントを開催しました。

緑化及び森林愛護作文・ポスターコンクールには、226点の応募がありました。入賞作品のポスター・作品集を作成・配布したほか、入賞作品の展示会を実施しました。

市内保育園などでの紙芝居教室を開催しました。また、小中学校においてごみ分別や地球温暖化について、環境学習会を開催しました。

鹿沼市内の児童生徒 1,677 人が、自然体験交流センターにおいて自然生活体験学習を実施しました。

すみだ環境フェアでのマイ箸づくり



市内保育園での紙芝居教室

《環境学習教材の活用》

環境学習副読本を市内の全小学 4 年生。

《地域特性を生かした環境教育の推進》

地域の夢実現事業(第 2 階層)において、地域環境の保全に係る活動を支援しました。(粕尾地区「望遠鏡導入による星空観察会開催」・菊沢地区「黒川堤防沿いへの桜植栽」・清洲地区「地域ぐるみりサイクル活動」)

中項目②きれいなまちづくりの推進

小項目(1) きれいなまちづくり運動

《きれいなまちづくり推進員の活動支援》

協議会の支部会議及び 6 月 29 日に開催した全体会議において、活動内容や役割などの説明を行いました。

また、支部長会議を年 3 回開催し、各支部間で地域の環境課題の情報交換と共有化を行いました。

《地域特性を生かしたきれいなまちづくりの実践》

自治会や地域住民が主体となった環境美化活動に対し、ボランティア袋を配布し支援しました。

5 月 20 日、9 月 16 日の「環境美化の日」に、地域清掃活動等を実施しました。

中心市街地の幹線道路に設置されている街路灯を利用し、市民や来訪者がきれいな花を楽しめるフラワーロード整備(5 路線・2,300m、124 基)を推進しました。

環境施策の数値目標一覧

番号	施策			行動内容	担当部局	数値目標の進行管理			
	大項目	中項目	小項目			項目	現状値(H27)	H30実績	目標値(H33)
1	1 低炭素のまちをつくる	① 温室効果ガスの削減	(1) 温室効果ガスの排出抑制	COOL CHOICEの普及促進	環境部	COOL CHOICE運動による啓発数	***	1,037人	年間1,000人
2				環境にやさしい建築物の普及促進	都市建設部	低炭素建築物及び長期優良住宅の認定申請率	11.7%	9.9%	13.8%
3				生活交通の確保・利用促進	市民部	定期路線バス1便当たりの利用者数	5人	6人	6人
4					予約バス1便当たりの利用者数	2人	2人	3人	
5			(2) 省資源・省エネルギーの推進	省資源・省エネルギーの普及啓発	環境部	エコライフ推進事業参加数	9人	58人	5年累計500人
6				建築物の省エネルギー改修の促進	都市建設部	住宅リフォームに対する支援	43件	80件	50件
7				防犯灯・街路灯の省電力化	市民部	防犯灯のLED化	累計3,138基	累計7,018基	累計7,372基
8			(3) 再生可能エネルギーの利活用	再生可能エネルギーの利活用に対する支援	環境部	再生可能エネルギー設備等の導入に対する支援	累計1,661件	累計2,348件	累計3,210件
9									
10			(4) 温室効果ガスの吸収源対策	森林の適正管理	経済部	森林経営計画における計画面積	累計10,193ha	370ha	年間500ha
11				森林の保全と緑化の推進	経済部	植林体験イベントの開催	年4回	年5回	年4回
12			【総括目標】⇒			市全域からの温室効果ガス排出量	851,521t-CO2	850,390t-CO2	789,197t-CO2
13		② 市の公共機関としての率先行動	(1) 再生可能エネルギーの利活用	公共施設における再生可能エネルギー設備導入の推進	全庁	公共施設への再生可能エネルギー設備の設置	5か所	6か所	8か所
14				クリーンエネルギー公用車の導入	全庁	クリーンエネルギー公用車の導入数	17台	21台	23台
15			(2) 省資源・省エネルギーの推進	庁内ストップ温暖化行動の徹底	全庁	電気使用量の削減	24,740MWh	25,836MWh	21,403MWh
16						ノー残業デーの全職員完全遂行	***	89%	90%
17				公共施設等総合管理の推進	財務部	燃やすごみ排出量の削減	106t	104t	85t
18				【総括目標】⇒			市公共施設からの温室効果ガス排出量	25,145t-CO2	32,811t-CO2
19	2 循環のまちをつくる		① 3Rの推進	(1) ごみの排出抑制	ごみ減量化の強化	環境部	「ごみ減量化強化月間」の実施	臨時に実施	随時
20									
21		(2) 資源の再利用・リサイクルの推進		ごみの「5種14分別収集」の徹底	環境部	資源ごみのリサイクル率	15.5%	15.1%	21.0%
22				バイオマス資源の利活用促進	経済部	堆肥化センターにおける搬入処理量(家畜排せつ物、木くず、もみ殻等)	9,882t	10,101t	19,175t
23					環境部	生ごみ処理機等の設置に対する支援	累計9,141件	累計9,235件	累計9,531件
24			空き家対策の推進	都市建設部	下水汚泥搬出量の低減	3,120t	2,069t	1,500t	
25		(3) ごみ等の適正処理	ごみ・し尿の適正処理	環境部	管理不全空き家の是正割合	53.9%	22.7%	53.9%	
26									
27		【総括目標】⇒			ごみの総排出量	31,874t	31,163t	29,331t	
					燃やすごみの総排出量	24,042t	24,671t	21,878t	

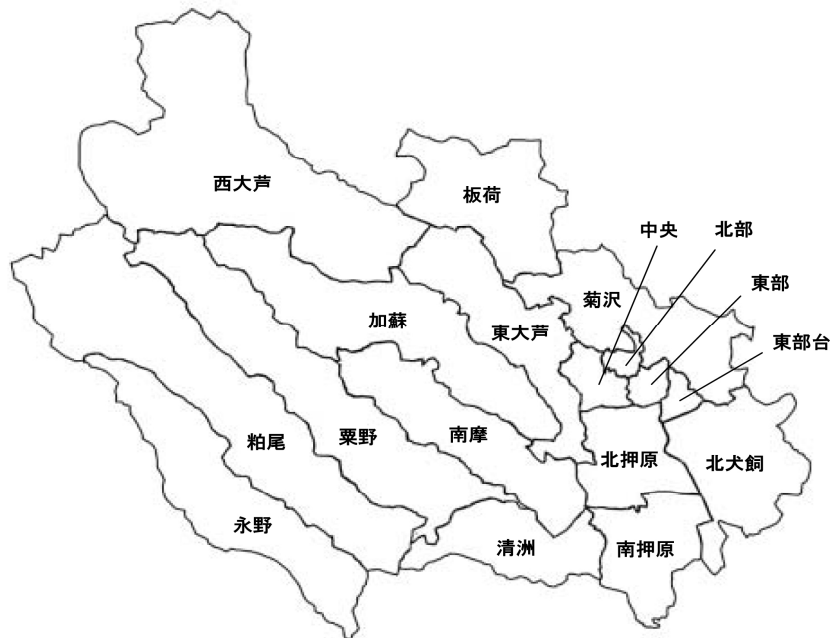
番号	施策			行動内容	担当部局	数値目標の進行管理							
	大項目	中項目	小項目			項目	現状値(H27)	H30実績	目標値(H33)				
28	2	② 水循環の保全	(1) 水資源の保全と有効利用	上水道の整備・管理	水道部	水道漏水個所の調査	287km	370km	5年累計2,000km				
29						水道老朽管の更新	3,704m	4,202m	5年累計27,000m				
30				(2) 生活排水等の適正処理	公共下水道の整備	環境部	公共下水道処理区域普及人口	62,343人	61,979人	60,709人			
31							同普及率	62.5%	63.6%	63.8%			
32							同水洗化人口	58,553人	58,345人	58,722人			
33							同水洗化率	93.9%	94.1%	96.7%			
34			地域における生活排水処理適正化の推進				環境部	農業集落排水事業普及人口	4,075人	3,888人	3,323人		
35								同普及率	100%	100%	100%		
36			個人の浄化槽設置に対する支援	環境部	浄化槽設置数	累計3,888基	累計4,159基	累計4,600基					
37					雨水対策の推進	環境部	雨水排水管渠整備面積	526.33ha	543.97ha	558.80ha			
38			3	① 自然環境の保全	(1) 自然環境の保全	環境保全型農業や有機農業の推進	経済部	環境保全型農業の取組面積	683a	1,343a	683a		
41								農業・農村の多面的機能の発揮促進	経済部	農業・農村多面的機能の維持・発揮に係る地域活動	28団体	31団体	29団体
42	中山間地域対策	経済部				市民参加による森林保全活動	累計20か所	累計24か所	累計25か所				
43						有害鳥獣(イノシシ)の捕獲	586頭	681頭	800頭				
44	耕作放棄地対策	経済部				耕作放棄地面積	996ha	982ha	年間▲5ha				
45						(2) 生物多様性の保全	環境部	動植物図鑑の刊行	***	無	初版刊行		
46	② 生活環境の保全	(1) 自然と調和した住環境づくり		(1) 自然と調和した住環境づくり	都市建設部	市街地の整備(新鹿沼駅西土地区画整理事業)	280.3ha	309.2ha	309.2ha				
47						(3) 不法投棄の防止	環境部	ごみの不法投棄の防止	8か所	5か所	5か所		
48								不法投棄ごみの撤去	環境部	クリーン鹿沼実施箇所数	25か所	32か所	34か所
49								放置自転車対策	市民部	放置自転車数	80台	106台	60台
50	4	① 次世代につなぐ人づくり		(1) 市民への環境教育の充実	環境部	市民参加講座・イベント等の開催	環境部	環境学習講座(基礎課程)の受講者数	13人	7人	年間15人		
51						環境教育指導者の養成・発掘・活用	環境部	かめま環境学習リーダーの登録数	***	0件	5年累計17人		
52			地域における環境学習の推進			環境部	地域環境学習講座の開催数	***	1件(3地区)	5年累計17地区			
53			(2) 子どもたちへの環境教育の充実			経済部	子どもたちへの環境教育の推進	経済部	木工体験事業の開催数	3回	5回	年間4回	
54				緑化推進コンクール(作文・ポスター)の応募数	環境部		緑化推進コンクール(作文・ポスター)の応募数	254点	226点	年間280点			
55							子ども環境学習講座の開催数	1回	7回	年間10回			
56				環境学習推進校の指定数	教育委員会事務局		環境学習推進校の指定数	累計29校	0校	5年累計35校			
57							自然生活体験学習参加児童・生徒数	2,030人	1,677人	1,545人			
58				環境学習教材の活用	環境部		環境学習副読本の活用実績	50%	隔年実施	70%			
59			② きれいなまちづくりの推進			(1) きれいなまちづくり運動	【総括目標】⇒	環境美化推進モデル地区数	累計9地区	累計10地区	累計12地区		

第5章 地域別環境配慮行動計画の実績

地域にはそれぞれ、自然的特性や社会的特性などがあり多様性を持っています。

平成 16 年のきれいなまちづくり推進員の組織化を契機に、地域の環境保全活動の連携が図られ、地域環境ネットワークの構築が進められてきました。

このネットワークのもとに、市内にある 17 の各地区において地域の特性に応じた環境保全の目標設定、活動、進行管理が主体的に行われ、地域環境力が高まっています。



鹿沼市地区図

地区	取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H30年度 実績	H33年度 目標値	達成率
中央	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の巡回、不法投棄物の早期撤去	実施	実施	実施	100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ 定期的なごみステーションの監視（分別指導・持込監視） ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 16団体	実施 15団体	実施 16団体	100% 94%
	◆ 小藪川などの河川清掃 ・ 小藪川や水路の清掃、周辺環境の整備	年1回	未実施	年1回	0%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 実施 実施	実施 実施 実施	実施 実施 実施	100% 100% 100%
東部	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ きれいなねっと等の団体育成	1団体	1団体	2団体	50%
	◆ 適切な土地利用 ・ 空き家や空き地の管理要請	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理、リサイクルの推進 ・ 集団回収活動の促進	16団体	17団体	16団体	106%
	◆ 西武子川の水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動	年2回	年2回	年2回	100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ ごみステーションの巡回 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施	100% 100% 100%
	◆ 騒音、振動大気汚染の防止 ・ アイドリングストップの実施・啓発	—	未実施	実施	0%
	◆ 野生動植物の保護 ・ 自然保護・生育環境保全の周知	未実施	未実施	実施	0%
北部	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の推進 ・ ペットのふん対策（対策看板設置等）	実施 実施	実施 実施	実施 実施	100% 100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 放置自転車対策 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 実施 18団体	実施 未実施 17団体	実施 実施 18団体	100% 0% 94%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	未実施 年3回 実施	未実施 年3回 実施	実施 年3回 実施	0% 100% 100%
	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ クリーン鹿沼の実施	年1回	年2回	年1回	200%
菊沢	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ 黒川・武子川の水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動	年2回	年2回	年2回	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 放置自転車対策 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 実施 年12回	実施 実施 年12回	実施 実施 年12回	100% 100% 100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 未実施	実施 年2回 未実施	実施 年2回 実施	100% 100% 0%
	◆ 適切な土地利用 ・ 耕作放棄地の活用 （どろん子ふれあい農園事業の支援）	未実施	実施	実施	100%

地区	取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H30年度 実績	H33年度 目標値	達成率
東 大 芦	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の巡回・現状把握	年3回	年3回	年2回	150%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	年1回	年1回	年1回	100%
	◆ 有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策（随時行政への通報）	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ 集団回収の促進	9団体	9団体	9団体	100%
	◆ 水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動（河川パトロール）	年1回	年1回	年1回	100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日への参加 ・ 地区内一斉草刈りの実施 ・ 花いっぱい運動の推進	年2回 年1回 実施	年2回 年1回 実施	年2回 年1回 実施	100% 100% 100%
北 押 原	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 不法投棄物の撤去、啓発看板の設置 ・ ベットの適正管理（糞の適正処理）	実施 実施	実施 実施	実施 実施	100% 100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ 河川環境の保全 ・ 黒川、小敷川、瀬戸川等の清掃の実施	年1回	年1回	年1回	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底（ごみステーションパトロール） ・ 資源の有効活用（集団回収の促進） ・ マイバックの普及・啓発（リサイクル協力店や地域住民）	実施 17団体 未実施	実施 16団体 未実施	実施 17団体 実施	100% 94% 0%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	年3回 実施 未実施	年3回 実施 実施	年3回 実施 実施	100% 100% 100%
	板 荷	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の推進 ・ クリーン鹿沼の実施 ・ 防犯パトロールの実施	年2回 年0回 月1回	年2回 年0回 月1回	年1回 年1回 月1回
◆ 水質汚濁の防止 ・ 排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減） ・ 河川の清掃活動（黒川、久保田堀、大鹿島堀、吉良堀、長畑川）		年1回 年2回	年1回 年1回	年1回 年1回	100% 100%
◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 空き地の雑草管理の啓発		年2回 年3回 未実施 年1回	年2回 年6回 未実施 年0回	年2回 年3回 実施 年1回	100% 200% 0% 0%
◆ 有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策		年1回	年1回	年1回	100%
◆ 森林の保全 ・ 土地所有者の協力 ・ 森林ボランティア活動の推進 ・ 広葉樹への転換促進 ・ 間伐の促進と森林の適正管理		年1回 3団体 1箇所 11箇所	年1回 3団体 1箇所 11箇所	年1回 3団体 1箇所 11箇所	100% 100% 100% 100%

地区	取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H30年度 実績	H33年度 目標値	達成率
西 大 芦	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の巡回	年2回	年2回	年2回	100%
	◆ 森林の保全 ・ 地域の巡回による不法投棄の防止	年2回	年2回	年2回	100%
	◆ 有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	実施	100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き家の見回り （市への連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 集団回収の促進	実施 8団体	実施 8団体	実施 8団体	100% 113%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 道路脇の景観美化（地域活性化地区別行動）	年2回 未実施 年3回	年2回 未実施 年3回	年2回 実施 年3回	100% 0% 100%
	◆ 水質の保全 ・ 河川清掃	年1回	年1回	年1回	年1回
加 蘇	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の推進 ・ 加蘇地区クリーン診断の実施 ・ 不法投棄箇所の解消	実施 年1回 1か所	実施 年1回 1か所	実施 年1回 1か所	100% 100% 100%
	◆ 水質汚濁の防止 ・ 地域内の河川・水路の清掃活動	年2回	年2回	年2回	100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家 の見回り（市への連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 5団体	実施 5団体	実施 5団体	100% 100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域（道路・拠点施設）の清掃活動の実施 ・ 加蘇フラワーパーク構想の推進	実施 年3回 実施	実施 年3回 実施	実施 年3回 実施	100% 100% 100%
北 犬 飼	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ クリーン鹿沼の実施	年13回	年12回	年12回	100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 啓発活動の実施	年0回	年0回	年1回	0%
	◆ 水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動（堀ざらい）	年2回	年2回	年1回	200%
	◆ 大気汚染の防止 ・ 啓発活動の実施（ちらしの配布）	年0回	年0回	年1回	0%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 集団回収団体数	11団体	11団体	11団体	109%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日 ・ きれいねっと活動 ・ 自治会の清掃活動 ・ 環境美化モデル団体活動	年2回 6団体 実施 実施	年2回 6団体 実施 実施	年2回 6団体 実施 実施	100% 100% 100% 100%

地区	取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H30年度 実績	H33年度 目標値	達成率
東 部 台	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 不法投棄・ポイ捨て防止の啓発活動 ・ 地域関係団体と協力した啓発活動の推進 （会報の内容充実・発行）	随時 年1回	随時 年1回	随時 年1回	100% 100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の管理指導 ・ 所有者不明地に対する行政の指導を支援	随時 随時	随時 随時	随時 随時	100% 100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底（啓発・指導） ・ 放置自転車対策（巡視・設置管理の要請） ・ 資源の有効活用（集団回収の促進） ・ マイバック運動の推進（実践活動の充実） ・ ごみ減量化への取り組み（行政、商工団体と連携して過剰包装抑制の呼びかけ）	随時 随時 13団体 随時 随時	随時 随時 11団体 随時 随時	随時 随時 13団体 随時 随時	100% 100% 100% 100% 100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 （会報の内容充実・発行） ・ 犬の散歩時のマナー指導 ・ 地域の清掃活動の実施と関係団体との連携 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 茂呂山の清掃 ・ きこの栽培	年1回 年0回 随時 実施 年1回 年4回	年1回 年0回 随時 随時 年1回 年1回	年1回 年1回 随時 随時 年1回 年4回	100% 0% 100% 100% 100% 100%
	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ クリーン鹿沼の実施	年1回	年0回	年1回	0%
南 摩	◆ 悪臭の防止 ・ 事業者への協力要請 ・ 堆肥化センターの活用促進	実施 実施	実施 実施	実施 実施	100% 100%
	◆ 環境教育の推進 ・ 子どもエコクラブ活動の推進	1団体	1団体	1団体	100%
	◆ 森林の保全 ・ 高木校庭、城山ハイキングコースの整備への協力	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 7団体	実施 6団体	実施 7団体	100% 100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日への参加 ・ 不法投棄、ペットの糞対策等の看板の設置 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	年2回 実施 実施 実施 実施	年2回 実施 実施 実施 実施	年2回 実施 実施 実施 実施	100% 100% 100% 100% 100%
	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 黒川河川清掃（クリーン鹿沼の実施）	年1回	年1回	年1回	100%
南 押 原	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の管理（市への連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 4団体	実施 6団体	実施 4団体	100% 150%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 実施	実施 年2回 6団体	実施 年2回 実施	100% 100% 100%
	◆ 大気汚染の防止 ・ 野焼き禁止の啓発・行政との連携	実施	実施	実施	100%

地区	取り組み内容（行動指針）	H27年度 現状値	H30年度 実績	H33年度 目標値	達成率
栗 野	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動（不法投棄箇所の調査等） ・ 地域の行動活動（クリーン鹿沼の実施）	実施 年0回	実施 年3回	実施 年2回	100% 150%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（地区で連携し美化の日に除草実施）	年2回	年2回	年2回	100%
	◆ 水質汚濁の防止 ・ 排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減）のPR	年0回	年0回	年1回	0%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 7団体	実施 7団体	実施 7団体	100% 100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施（美化の日） ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施	実施 年2回 実施	100% 100% 100%
粕 尾	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の推進	実施	実施	実施	100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き家の管理（市への連絡）	未実施	実施	実施	100%
	◆ 野生生物との共生 ・ 和田用水「ほたるの里」の保全活動 ・ 行政との連携による有害鳥獣の被害防止と安全対策	年1回 通年	年1回 通年	年1回 通年	100% 100%
	◆ 思川などの水質汚濁の防止 ・ 河川等の清掃活動の実施	年1回	年1回	年1回	100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	実施 年2回 未実施	実施 年2回 未実施	実施 年2回 実施	100% 100% 0%
永 野	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ クリーン鹿沼の実施 ・ 地域の巡回、不法投棄物の早期撤去	年0回 実施	年1回 実施	年1回 実施	100% 100%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	実施	100%
	◆ 水質汚濁・悪臭の防止 ・ 生活排水に対する啓発活動 ・ 事業者の協力の要請	未実施 未実施	未実施 未実施	実施 実施	0% 0%
	◆ 有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	実施	100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日の清掃活動 ・ 草刈り	年2回 年1回	年2回 年1回	年2回 年1回	100% 100%
清 洲	◆ 不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の巡回、不法投棄物の早期撤去 ・ ペットのふん対策（対策看板設置等）	実施 —	実施 未実施	実施 実施	100% 0%
	◆ 空き地・空き家の適正管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	—	年1回	年1回	100%
	◆ 水質汚濁及び悪臭の防止 ・ 排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減）のPR ・ 事業者への協力要請	年0回 年0回	年0回 年0回	年1回 年1回	0% 0%
	◆ 有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	年0回	年0回	年1回	0%
	◆ ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底 ・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	実施 5団体	実施 5団体	実施 5団体	100% 100%
	◆ きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施	年1回 年2回	年1回 年2回	年1回 年2回	100% 100%

資料集

1 大気環境の状況

平成30年度 環境基準達成状況

測定局	測定物質名	達成状況		環境上の条件	環境基準による大気汚染の評価	
		長期的評価	短期的評価			
一般環境測定局	市役所	二酸化硫黄	○	○	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること	長期的評価及び短期的評価
		二酸化窒素	○	△	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること	98%値評価 (長期的評価に相当)
		浮遊粒子状物質	—	—	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること	長期的評価及び短期的評価
		光化学オキシダント	△	×	1時間値が0.06ppm以下であること	昼間の1時間値で評価 (短期的評価に相当)
		微小粒子状物質 (PM2.5)	(長期基準) ○	(長期基準) ○	1年平均値がμg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。	長期基準及び短期基準
ガ自動車測定排出局	歩道所橋町	二酸化窒素	○	△	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること	98%値評価 (長期的評価に相当)
		浮遊粒子状物質	○	○	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること	長期的評価及び短期的評価

- 1 “○”は環境基準等達成、“×”は未達成、“—”は評価対象外を示す。
- 2 長期的評価とは、年間にわたる測定結果を長期的に観察した上で評価することをいう。
- 3 短期的評価とは、連続又は随時に行った測定結果により、測定を行った日又は時間について評価することをいう。

光化学スモッグ注意報発令日数

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
県内	7	16	11	2	4	5	2	3	6	4
鹿沼	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0

モニタリングポストによる空間放射線量の状況

単位: μSv/h

平成26年 4月1日午前0時	平成27年 4月1日午前0時	平成28年 4月1日午前0時	平成29年 4月1日午前0時	平成30年 4月1日午前0時
0.046	0.046	0.043	0.043	0.043

(注)設置場所はまちの駅「新・鹿沼宿」。モニタリングポスト高さは1m。

2 水環境の状況

平成30年度 河川水質調査結果 1回目

理化学項目調査 9月28日実施分			水生生物調査 8月30日実施分												
12河川・21地点			12河川・20地点												
河川名	採水地点	水生生物による水質階級	分析内容 (上段:項目、下段:単位)										類型		
			透視度 cm	pH	BOD mg/L	SS mg/L	DO mg/L	T-N mg/L	T-P mg/L	大腸菌 MPN/100mL	流量 m3/sec				
黒川	大原堰堤上	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	柿沢橋下	-	>30	7.4	0.5	<1.0	9.9	0.73	<0.003	790	3.84	-	-	A	
	御成橋下	-	>30	7.5	0.5	1.0	9.6	0.89	0.006	-	7.76	-	-	A	
	貝島橋下	-	>30	7.6	<0.5	1.0	9.8	0.94	0.004	700	8.66	-	-	A	
	榎木橋下	きれいな水	>30	7.4	<0.5	1.0	9.4	1.30	0.046	-	7.12	-	-	A	
大芦川	一の鳥居	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	大仁田橋下	-	>30	7.5	<0.5	<1.0	9.8	0.50	<0.003	-	4.77	-	-	AA	
	赤石橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	北半田橋下	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	9.3	0.90	0.009	-	6.28	-	-	AA	
小藪川	東武線ガード下	少しきかない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	段ノ浦橋下	-	>30	7.8	0.9	3.0	9.1	1.20	0.034	-	0.17	-	-	A	
	榎木町小藪橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
行川	富岡橋下	きれいな水	>30	7.7	0.5	<1.0	9.6	0.79	0.006	790	3.39	-	-	A	
荒井川	法長内橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	旧加蘇出張所前	-	>30	7.4	<0.5	<1.0	10.0	1.00	0.008	-	1.74	-	-	AA	
	象間橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
南摩川	豊年橋下	きれいな水	>30	7.2	1.0	<1.0	9.3	1.10	0.003	-	0.93	-	-	A	
武子川	仁神堂橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
	飯岡橋下	-	>30	7.6	1.2	2.0	9.8	1.80	0.031	-	1.00	-	-	B	
	工業団地東	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
西武子川	寿橋下	きれいな水	>30	7.7	1.4	5.0	9.2	2.40	0.035	-	0.18	-	-	A	
瀬戸川	黒川橋東	きれいな水	>30	7.1	0.5	3.0	8.9	1.70	0.015	-	0.53	-	-	A	
粟野川	台東区自然学園前	-	>30	7.2	<0.5	1.0	10.0	0.46	0.003	270	1.10	-	-	A	
	入粟野境	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	粟野コミセン前	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	9.3	0.94	0.011	-	1.91	-	-	A	
	清瀬橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
思川	墨田区自然学園前	-	>30	7.2	0.5	<1.0	9.7	0.43	0.004	-	2.73	-	-	A	
	蕪根橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	大越路橋	-	>30	7.3	0.5	<1.0	9.8	0.83	0.009	-	2.59	-	-	A	
	清南橋	-	>30	7.0	0.6	1.0	9.4	1.00	0.011	-	7.50	-	-	A	
	清洲橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	小倉橋	-	>30	7.4	<0.5	1.0	10.0	0.95	0.011	-	46.84	-	-	A	
永野川	石倉橋	-	>30	7.4	0.5	<1.0	9.7	1.00	0.015	-	1.67	-	-	A	
	田中橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	倉本橋	きれいな水	>30	7.3	<0.5	<1.0	9.1	1.20	0.014	-	2.47	-	-	A	
環境基準	類型 AA	6.5 ~ 8.5	1以下	25以下	7.5以上	50以下									
	類型 A		2以下				1,000以下								
	類型 B		3以下					5,000以下							

※ 網掛けは環境基準超過、-は未調査

平成30年度 河川水質調査結果 2回目

理化学項目調査 1月31日実施分	水生生物調査 1月30日実施分
12河川・21地点	12河川・20地点

河川名	採水地点	水生生物による水質階級	分析内容 (上段:項目、下段:単位)									類型	
			透視度	pH	BOD	SS	DO	T-N	T-P	大腸菌	流量		
			cm		mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	MPN/100mL	m3/sec		
黒川	大原堰堤上	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	柿沢橋下	-	>30	7.4	0.5	<1.0	13.0	0.52	0.004	70	0.73	A	
	御成橋下	-	>30	7.6	0.6	<1.0	12.0	1.20	0.010	140	0.66	A	
	貝島橋下	-	>30	7.7	<0.5	<1.0	12.0	1.20	0.008	130	0.76	A	
	榎木橋下	きれいな水	>30	7.6	0.8	<1.0	12.0	4.10	0.110	240	0.76	A	
大芦川	一の鳥居	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	大仁田橋下	-	>30	7.4	<0.5	<1.0	13.0	0.41	0.004		0.38	AA	
	赤石橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	北半田橋下	-	>30	7.6	<0.5	<1.0	13.0	0.93	0.011	23	0.52	AA	
小藪川	東武線ガード下	少しきかない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	段ノ浦橋下	-	>30		0.9	21.0	13.0	0.74	0.024	700	0.02	A	
	榎木町小藪橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
行川	富岡橋下	きれいな水	>30	7.6	0.7	<1.0	13.0	0.95	0.008	170	0.54	A	
荒井川	法長内橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	旧加藤出張所前	-	>30	7.5	0.7	<1.0	12.0	0.77	0.010		0.18	AA	
	象間橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
南摩川	豊年橋下	きれいな水	>30	6.8	<0.5	<1.0	9.1	1.00	0.004	240	0.01	A	
武子川	仁神堂橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
	飯岡橋下	-	>30		0.6	1.0	14.0	1.50	0.021	1,700	0.27	B	
	工業団地東	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
西武子川	寿橋下	きれいな水	>30	8.1	0.7	<1.0	13.0	2.00	0.040		0.04	A	
瀬戸川	黒川橋東	きれいな水	>30	7.7	<0.5	<1.0	12.0	1.40	0.007	330	0.05	A	
粟野川	台東区自然学園前	-	>30	7.3	0.5	<1.0	13.0	0.32	0.005	49	0.45	A	
	入粟野境	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	粟野コミセン前	-	>30	7.1	<0.5	<1.0	12.0	0.75	0.008	330	0.12	A	
	清瀬橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
思川	墨田区自然学園前	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	13.0	0.28	0.005	330	0.61	A	
	蕪根橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	大越路橋	-	>30	7.2	0.5	<1.0	14.0	0.60	0.008		0.17	A	
	清南橋	-	>30	7.1	<0.5	3.0	12.0	1.00	0.015	350	0.88	A	
	清洲橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	小倉橋	-	>30	8.0	<0.5	4.0	11.0	1.00	0.009	330	1.88	A	
永野川	石倉橋	-	>30	7.5	<0.5	2.0	13.0	0.56	0.009	110	0.21	A	
	田中橋	少しきかない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	倉本橋	きれいな水	>30	6.5	<0.5	<1.0	10.0	1.70	0.009	79	0.02	A	
環境基準	類型 AA	6.5	1以下	25以下	7.5以上					50以下			
	類型 A	~	2以下							1,000以下			
	類型 B	8.5	3以下							5以上		5,000以下	

※ 網掛けは環境基準超過、-は未調査

平成30年度 地下水水質調査結果

地区	鹿沼	菊沢	東大芦	北押原	板荷	西大芦	加蘇	北犬飼
地点数	1	6	5	3	2	2	4	4
地区	東部台	南摩	南押原	粟野	粕尾	永野	清洲	合計
地点数	0	2	4	1	1	1	2	38

調査項目	調査月	8月		調査月	2月		環境基準
		調査検体数	不適検体数		調査検体数	不適検体数	
カドミウム		38	0	38	0	0.003mg/L以下	
全シアン		38	0	38	0	検出されないこと	
鉛		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
六価クロム		38	0	38	0	0.05mg/L以下	
ひ素		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
総水銀		38	0	38	0	0.0005mg/L以下	
P C B		38	0	38	0	検出されないこと	
1.1.1-トリクロロエタン		38	0	38	0	1.0mg/L以下	
トリクロロエチレン		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
テトラクロロエチレン		38	0	38	0	0.01mg/L以下	
ふっ素		15	0	15	0	0.8mg/L以下	
亜硝酸性窒素・硝酸性窒素		15	0	15	0	10mg/L以下	
ほう酸		15	0	15	0	1.0mg/L以下	

地下水汚染地域の継続監視

H30. 8

南上野町地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
下奈良部町	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
上石川	<0.001	<0.001	-	-
南上野町1	<0.001	0.003	<0.002	<0.004
南上野町2	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
南上野町3	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
池ノ森	<0.001	0.001	<0.002	<0.004

津田千渡地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
白桑田	<0.001	<0.001	-	-
深津1	<0.001	0.011	-	-
深津2	<0.001	0.015	-	-
深津3	<0.001	<0.001	-	-
深津4	<0.001	<0.001	-	-
深津5	<0.001	<0.001	-	-
茂呂	<0.001	0.008	-	-

H31. 2

南上野町地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
下奈良部町	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
上石川	<0.001	<0.001	-	-
南上野町1	<0.001	0.002	<0.002	<0.004
南上野町2	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
南上野町3	<0.001	<0.001	<0.002	<0.004
池ノ森	<0.001	0.001	<0.002	<0.004

津田千渡地区 測定値

地区名	トリクロロエチレン (単位 mg/L)	テトラクロロエチレン (単位 mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/L)	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/L)
白桑田	<0.001	<0.001	-	-
深津1	<0.001	0.002	-	-
深津2	<0.001	0.005	-	-
深津3	<0.001	0.008	-	-
深津4	<0.001	<0.001	-	-
深津5	<0.001	<0.001	-	-
深津6	<0.001	<0.001	-	-

特定事業場排水検査

調査日 平成31年3月18日

調査箇所数 10事業所、17排水口

調査項目	不適検体数	排水基準
水素イオン濃度 (pH)	1	5.8以上8.6以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)	0	25mg/L
浮遊物質 (SS)	0	50mg/L
大腸菌群数 (E. ch)	1	3,000個/mL
n-ヘキサン抽出物質質量(油類)	1	5個/mL

鹿沼工業団地総合排水口水質調査結果（姿川 調査日：平成31年3月18日）

調査項目		測定値	排水基準
水素イオン濃度指数	pH	7.1	5.8～8.6
生物化学的酸素要求量	BOD	3.5	25mg/L (3mg/L)
浮遊物質質量	SS	7.0	50mg/L (25mg/L)
n-ヘキサン抽出物質質量	油分	<1	5mg/L
カドミウム	Cd	<0.001	0.1mg/L
シアン	CN	<0.1	1mg/L
鉛	Pb	<0.005	0.1mg/L
六価クロム	Cr ⁺⁶	<0.04	0.1mg/L
ヒ素	As	<0.005	0.1mg/L
クロム	Cr	<0.1	2mg/L
総水銀	Hg	<0.0005	0.005mg/L
銅	Cu	<0.1	3mg/L
亜鉛	Zn	<0.1	5mg/L
大腸菌群数	E. ch	70	3,000個/mL
溶解性鉄	Fe	<0.1	3mg/L
溶解性マンガン	Mn	<0.1	3mg/L
ふっ素	F	<0.2	8mg/L
フェノール類		<0.1	1mg/L
トリクロロエチレン	TCE	<0.001	0.3mg/L
テトラクロロエチレン	PCE	<0.0005	0.1mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	MC	<0.0005	3mg/L

※ () 内は、河川環境基準 (B類型)

平成30年度 放流水中の有害物質検査結果

検査項目	基準	単位	黒川終末 処理場	粟野 水処理 センター	古峰原 水処理 センター	西沢 水処理 センター	鹿沼 フェニックス
水素イオン濃度(水素指数)	5.8~8.6		6.9	6.9	6.2	6.7	6.6
生物化学的酸素要求量 BOD	20	mg/L	5.9	3.1	<1.0	1.5	2.3
化学的酸素要求量 COD	20	mg/L	-	-	-	-	4.4
浮遊物質 SS	50	mg/L	2.8	<1.0	<1.0	1.2	<1.0
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	5	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動物性油脂類含有量)	30	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
フェノール類含有量	1	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
銅含有量	3	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
亜鉛含有量	5	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
溶解性鉄含有量	3	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
溶解性マンガン含有量	3	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
クロム含有量	2	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
大腸菌群数	3,000	個/cm ³	0	0	0	0	0
カドミウム及びその化合物	0.03	mg/L	<0.001	<0.001	<0.003	<0.01	<0.001
シアン化合物	1	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
有機燐化合物	1	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛及びその化合物	0.2	mg/L	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.005
六価クロム化合物	0.1	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
砒素及びその化合物	0.5	mg/L	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他水銀化合物	0.005	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	0.0005	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル PCB	0.003	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	0.3	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	0.1	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.001	<0.0005
ジクロロメタン	0.2	mg/L	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.002
四塩化炭素	0.02	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.001	<0.001	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.04	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.004	<0.004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.2	mg/L	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.002
シス1,2-ジクロロエチレン	0.4	mg/L	<0.004	<0.004	<0.04	<0.04	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	3	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.001	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.006	<0.006	<0.0006
1,3-ジクロロプロペン	0.02	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.002	<0.002	<0.0002
1,4-ジオキサン	0.5	mg/L	<0.05	<0.05	<0.005	<0.005	<0.05
チウラム	0.06	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.006	<0.006	<0.0006
シマジン	0.03	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.003	<0.003	<0.0003
チオベンカルブ	0.2	mg/L	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.002
ベンゼン	0.1	mg/L	<0.001	<0.001	<0.01	<0.01	<0.001
セレン及びその化合物	0.1	mg/L	<0.002	<0.002	<0.01	<0.01	<0.002
ほう素とその化合物	10	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1.0
ふっ素及びその化合物	8	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
窒素含有量	120	mg/L	27.0	1.6	9.0	2.4	28
磷含有量	16	mg/L	1.5	1.2	2.1	1.8	0.1

※ 基準は、水質汚濁防止法に基づく排出基準です。

※ - は、未調査です。

※ 1,4-ジオキサンは、平成24年度に規制物質に追加されました。

3 騒音・振動の状況

平成30年度 道路・環境騒音測定調査結果 単位：dB

路線	測定地点	幹線道路に面する地域	
		昼 間	夜 間
高速自動車道	白桑田	○	○
東北自動車道		56 (70)	54 (65)
国道	貝島町	○	○
国道121号		62 (70)	55 (65)
県道	栄町3丁目	○	○
鹿沼環状線		67 (70)	61 (65)

※ () 内の数字は総理府令で定める要請限度値

4 ダイオキシン類の状況

平成30年度 ダイオキシン調査結果

水質

地下水

調査場所: 鹿沼フェニックス

項目	放流水	地下水
調査日	平成30年12月21日	平成30年12月21日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.000pg-TEQ/L	0.037pg-TEQ/L
環境基準	10pg-TEQ/L	≤1pg-TEQ/L

河川

調査場所: 大芦川(御幣岩橋下)

項目	河川水	河川底質
調査日	平成30年8月20日	平成30年8月20日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.039pg-TEQ/L	0.13pg-TEQ/g
環境基準	1pg-TEQ/L	150pg-TEQ/g(乾燥重量)

大気

調査場所: 鹿沼市役所

調査日	平成30年8月3日～8月10日	平成31年2月15日～2月22日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.0090pg-TEQ/m ³	0.027pg-TEQ/m ³
環境基準	0.6pg-TEQ/m ³	0.6pg-TEQ/m ³

土壌

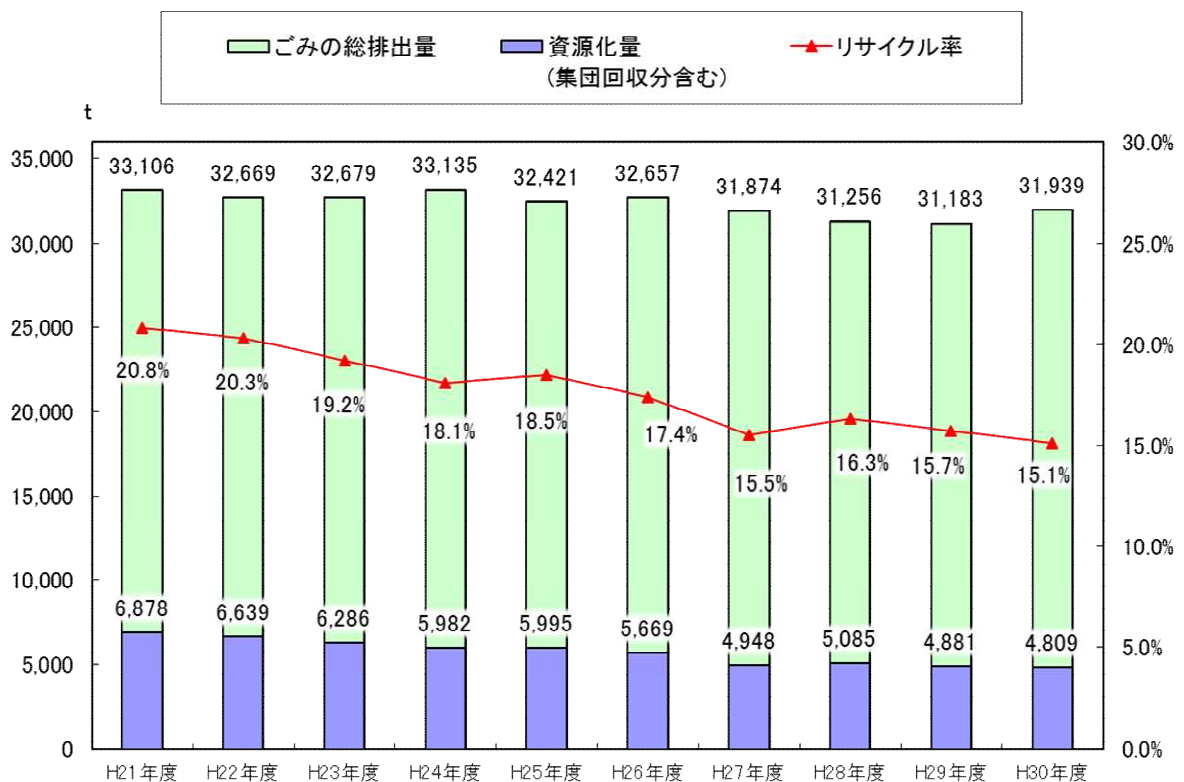
調査場所: 板荷小学校

測定日	平成31年2月15日
調査地点	1か所
測定結果	0.46 pg-TEQ/g (乾燥重量)
環境基準	1,000 pg-TEQ/g

5 ごみの総排出量とリサイクル率の推移

ごみの総排出量とリサイクル率の推移

区 分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
ごみの総排出量	33,106	32,669	32,679	33,135	32,421	32,657	31,874	31,256	31,183	31,939
資源化量 (集団回収分含む)	6,878	6,639	6,286	5,982	5,995	5,669	4,948	5,085	4,881	4,809
リサイクル率	20.8%	20.3%	19.2%	18.1%	18.5%	17.4%	15.5%	16.3%	15.7%	15.1%



6 動植物の生息状況

市域内の確認種数、注目すべき種数及び栃木県内の確認種数

動植物	市域内の確認種数	市域内での 注目すべき種数 (栃木県絶滅危惧種)	栃木県内での 確認種数	鹿沼市で確認 された割合
植 物	166科 2,172種	53科 89種	177科 3,151種	68.9%
昆虫類	22目 356科 3,577種	10目 70科 121種	10,133種	35.3%
魚 類	8目 14科 37種	8目 8科 10種	11目 17科 55種	67.3%
両生類	2目 6科 15種	2目 5科 11種	2目 6科 18種	83.3%
爬虫類	2目 7科 14種	2目 5科 12種	2目 8科 15種	93.3%
鳥 類	16目 46科 176種	12目 25科 53種	18目 61科 293種	60.1%
哺乳類	7目 17科 39種	3目 7科 16種	7目 18科 53種	73.6%

平成27年度実施 第4次鹿沼市環境基本計画等策定基礎調査結果報告書より

7 環境審議会委員名簿

環境審議会委員名簿（任期 令和元年10月14日～令和3年10月13日）

No	職名	委員区分	所属等	氏名
1	会長	(1)市民	鹿沼市自治会連合会	鈴木節也
2	委員		きれいなまちづくり推進員協議会	廣田稔
3	委員		エコネットかぬま	大出ヨシ
4	委員		公募委員	松島良子
5	委員		公募委員	森忍
6	委員	(2)市議会の議員	鹿沼市議会	小島実
7	委員	(3)市の副市長	鹿沼市	福田義一
8	委員	(4)関係行政機関の職員	栃木県西環境森林事務所	佐藤健之
9	委員		栃木県上都賀農業振興事務所	早乙女薫
10	委員		栃木県鹿沼土木事務所	青木淳
11	委員		鹿沼市小中学校長会	安田晃章
12	委員	(5)学識経験を有する者	鹿沼商工会議所	橋本公之
13	委員		鹿沼工業団地総合管理協会	大塚進
14	委員		栗野森林組合	福田七右衛門
15	副会長		鹿沼自然観察会	渡邊知義

令和2年2月29日現在

8 環境情報紙（平成30年度：1回発行）

No.13「ecoの環 - エコのわ - 」平成31年2月25日発行

1 ページ



..かぬまの環境を
地域と共にはぐくむ..

「ecoの環」へのご意見、ご要望がありましたら、環境課環境政策係（☎64-3194）までお寄せください。

野外での焼却行為は禁止されています

環境課環境保全係 ☎(65)1064

野外で廃棄物（家庭のごみも含みます）を燃やすことは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で原則禁止されています。

地面での直接焼却のほか、ドラム缶・ブロック・素掘りの穴・法定基準に合わない焼却炉等での行為が対象となります。

家庭から出る“ごみ”については屋外で焼却せず、市役所で発行している「家庭ごみの分け方・出し方」に沿って分別・処分をお願いします。

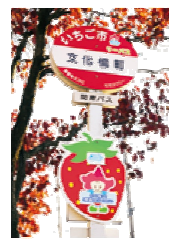


いちご市かぬまのクールチョイス、展開中です!



環境課環境政策係 ☎(64)3194

鹿沼市では「COOL CHOICE(クールチョイス)」(地球温暖化対策を防ぐための賢い選択)に平成28年度から賛同し、さまざまな普及啓発活動を行っています。



▲いちごのバス停

今年度は「市制70周年かぬまのクールチョイス」として、クールチョイスバス停の作成、クールチョイス4コマ漫画大賞、クールシェア・ウォームシェアスポット登録、環境学習講座などの事業を行いました。

環境活動者紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などの活動に取り組んでいる団体・企業などを、環境活動推進会議の編集員が取材しました。

緑いっぱい 自然大好き 上南摩の子 上なんま小エコクラス

「上なんま小エコクラブ」は、平成26年度から全校生で自然観察や栽培を中心とした活動を行っており、今年で5年目になります。

今年度は、2年間かけて完成させた「上南摩小学校周辺 植物図鑑」を使って、休み時間に植物の観察をしています。一つ一つ丁寧に観察し、作り上げた学校オリジナルの図鑑はみんなの宝物です。

学校の敷地内や周辺には自然がいっぱいです。「もりりん」「みどりん広場」という2つのピオトープもあります。年に何回かは校外へ出て、上南摩地区の自然観察もしています。

地元の人やボランティアの皆さんの協力により、上南摩小学校の子どもたちは植物や昆虫の名前にとっても詳しくなりました。

また、学校農園や花壇で1人1作物を観察・栽培していて、キュウリやトマトは毎年豊作です。

「子どもたちに上南摩小のよさを聞くと、真っ先に“自然の素晴らしさ”を挙げます。日常の会話の中で、「ジョウビタキ」「マムシグサ」などの動植物の種名が自然に出てくるのも、本校ならではのようです。ここで培った体験や感動をいつまでも持ち続けてほしいですね」と担当の廣瀬章裕さんが話してくれました。

▶植物図鑑を持った子どもたち



9 森林愛護ポスターコンクール



平成 30 年度森林愛護ポスターコンクール 最優秀賞作品 (小学生の部)



平成 30 年度森林愛護ポスターコンクール 最優秀賞作品（中学生の部）



平成 30 年度森林愛護ポスターコンクール 最優秀賞作品（高校生の部）

環境都市宣言

わたしたちは、鹿沼市のきれいな水と緑に恵まれて、豊かな心を育ててきました。

しかし、便利な暮らしを求めるために限りある資源を使い、こころない人が不法投棄をするなど、わたしたちの自然はおびやかされています。

21世紀になって、わたしたち鹿沼市民は、環境の保全について基本的な考え方をみんなでもとめあげ、きれいなまちづくりを進めているところです。

わたしたちは、共に生きる自然を守りながら、地球の恵みを未来に引き継ぐことを誓い、ここに鹿沼市を「環境都市」とすることを宣言します。

平成16年1月1日

「かぬまの環境」 第4次鹿沼市環境基本計画・

平成30年度実績報告書

令和2年3月 発行

編集・発行 鹿沼市 環境部 環境課 環境政策係

〒322-0045 鹿沼市上殿町695-7

TEL 0289-64-3194

FAX 0289-65-5766

E-mail kankyo@city.kanuma.lg.jp